

## あいち森と緑づくり委員会及び市町村や事業関係者の主な意見や要望

項目	主な意見や要望
全体	○この事業は期待度が高いので、事業の継続を強く望む。 ○カーボンニュートラルの実現に資することや、SDGsに貢献できる。
森林整備	○森林の適切な整備と防災・減災対策を継続実施することが重要。 ○伐採木を有効に利用する取組を継続して欲しい。 ○小規模な林業経営体でも間伐ができる事業やサポートが必要。
人工林の若返り	○公益的機能を持続的に発揮させるため、人工林の若返りと獣害対策が必要。 ○手入れ不足のまま高齢化し、主伐しても採算が合わない人工林への対策が必要。 ○補助対象苗木や基準の見直しが必要。 ○花粉症対策のためにも、少花粉や広葉樹への速やかな転換が必要。
里山林整備	○活動団体会員の高齢化に伴う活動の停滞が懸念されるため、対策の検討が必要。 ○協定期間が20年間と長く、活動団体の負担が大きい。 ○事業の要望が多いので、積極的な予算の確保を期待する。
都市緑化	○都市部の緑化では、民間企業と積極的な連携が重要。 ○民有地緑化について、面積要件の緩和が必要。 ○市街地の景観誘導や樹林地保全など、実施にはマニュアルや指針が必要。
環境活動・学習等推進	○成果が見えにくい地産活動が重要であり、活動団体への継続した支援が必要。 ○様々な年齢層の県民が、身近な自然と関われる取組が必要。 ○子供の将来のために重要な取組であるため、もっと若い人に参加してほしい。
普及啓発	○愛知県木材利用促進条例が制定され、県は新たな事業展開や取組が必要。 ○木材利用に係る事業の予算を増やして、しっかりと取り組んでほしい。 ○税や事業の認知度が低いので、PR方法の検討が必要。

## 課題と考慮すべき事項

今後、以下の項目について検討していく必要があります。

森林整備	○道路沿いの間伐や伐採木の有効利用を継続実施 ○小規模な林業経営体が間伐できる事業等の検討
人工林の若返り	○主伐再造林による、人工林の若返りと確実な獣害対策の推進 ○手入れ不足で高齢化した人工林への対策を検討 ○補助対象苗木の種類の見直しを検討
里山林整備	○地域活動を継続できるよう、協定内容の見直しを検討 ○県民のニーズに応えられるよう対策を検討
都市緑化	○引き続き、都市の緑を守り、育てる取組を推進 ○緑化イベントの開催など、効果的な普及啓発を実施
環境活動・学習等推進	○事業を幅広く周知し、環境活動等の取組を一層促進 ○生態系ネットワークの取組を拡充
普及啓発	○県民の木材利用ニーズに応じ、PR効果の高い施設が増えていくよう対策を検討 ○情報発信ツールを工夫し、効果的に周知

あいちの森と緑の  
マスコットキャラクター  
「森ずきんちゃん」



3年間、事業に取り組んできて、いろいろな意見や要望を関係者の皆さんからいただいたよ。

この事業評価報告書から、事業の内容や基準の見直し、新たな取組を検討していくね！



※右の二次元コードから、より詳細な評価報告書を愛知県ホームページでご覧いただけます。  
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shinrin/morimido-jigyouhyouka-2023-05.html>)  
お問合せは、農林基盤局林務部森林保全課 森と緑づくり推進室まで (TEL.052-954-6455)



あいち  
森と緑  
づくり事業



## 山から街まで緑豊かな愛知をめざして

～『あいち森と緑づくり事業評価報告書』の概要～

2023年5月



『森と緑』を県民共有の財産として健全な状態で将来に引き継ぐため、2009年度から導入した『あいち森と緑づくり税』を財源として、森林・里山林・都市の緑をバランスよく整備・保全する『あいち森と緑づくり事業』に取り組んでいます。

2019年度からは、第2期事業計画に基づき実施しています。今回、2021年度までの事業実績や成果を整理し、県民の皆様等へのアンケート調査、市町村や事業関係者とあいち森と緑づくり委員会から御意見をいただき、これらの結果を合わせて事業評価を行いました。

今後、この事業評価をもとに、2024年度以降の事業の実施やその内容を検討します。



# 第2期事業計画における3年間の実施状況

## 森林整備



着手前



完了後

人工林整備事業（新城市）

※第2期事業計画は、2019年度から10年間の計画です。



←事業内容は  
こちら

☆達成度

ランク	第2期事業計画の進み具合	
A	達成	(30%以上)
B	概ね達成	(24%以上 30%未満)
C	やや下回る	(24%未満)

森林整備の第2期事業計画 16,000ha に対して、2021年度までに 3,612ha の間伐を実施しました。  
事業の進み具合は 23%で、達成度は【C】です。

## 里山林整備



提案型里山林整備事業（西尾市）



←事業内容は  
こちら

里山林整備の第2期事業計画 40箇所に対して、2021年度までに 11箇所 で整備しました。  
事業の進み具合は 28%で、達成度は【B】です。

## 人工林の若返り

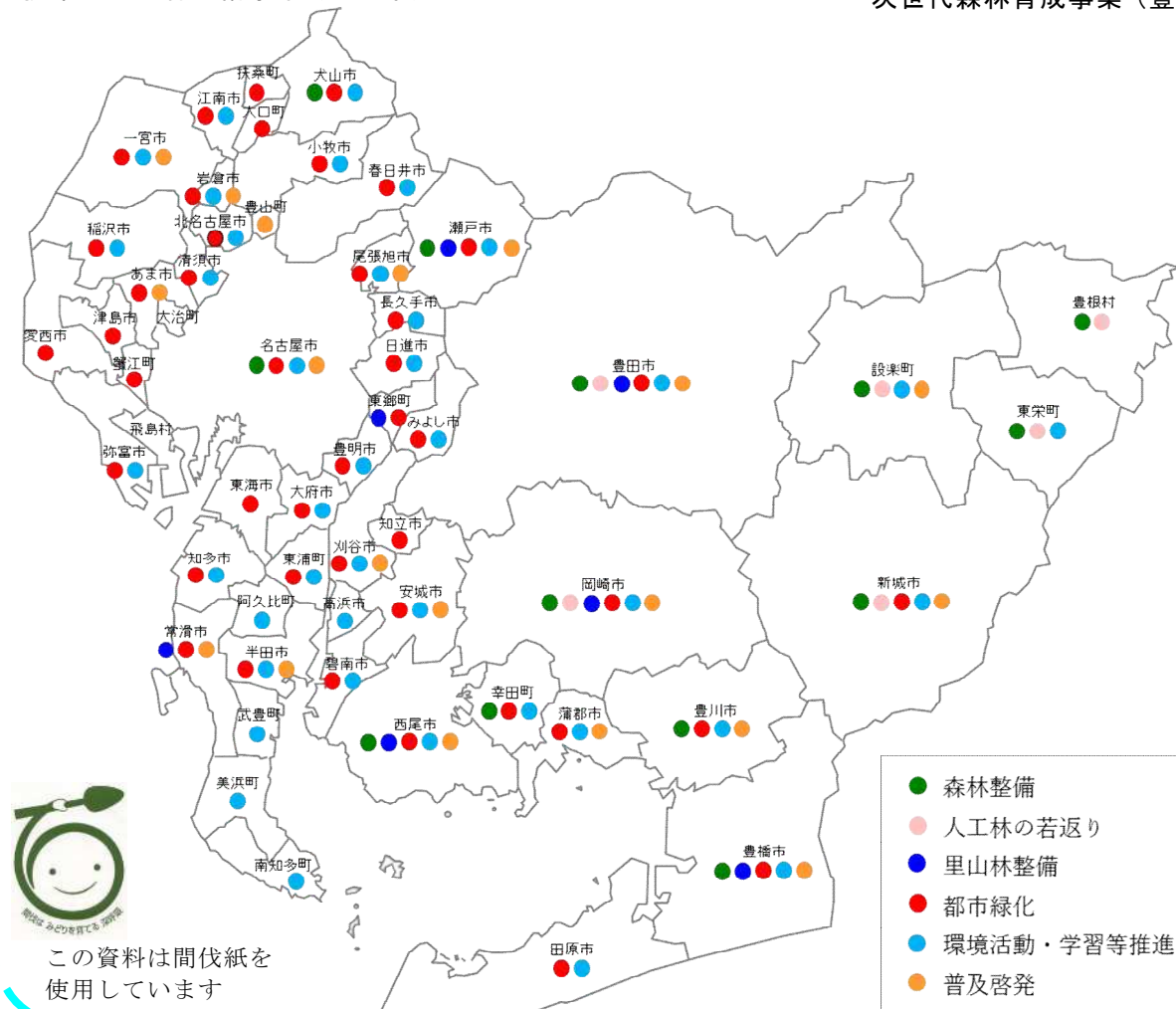


次世代森林育成事業（豊田市）



←事業内容は  
こちら

人工林の若返りの第2期事業計画 450ha に対して、2021年度までに 29ha に花粉症対策苗の植栽と獣害防止を行いました。  
事業の進み具合は 6%で、達成度は【C】です。



この資料は間伐紙を使用しています

## 普及啓発



木の香る都市づくり事業（名古屋市）



←事業内容は  
こちら

普及啓発の第2期事業計画 20件に対して、2021年度までに 31件の施設に支援しました。  
事業の進み具合は 155%で、達成度は【A】です。  
※達成度の対象事業は、「木の香る都市づくり事業」のみです。

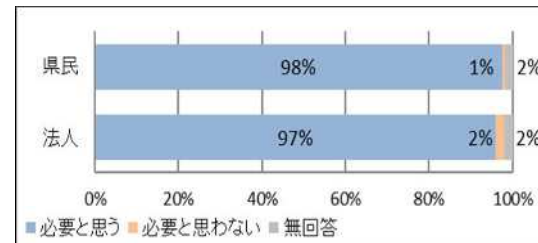
この地図は、どこの市町村でどの事業を行ったかを表示しているよ。  
山から街まで緑豊かな愛知をめざして、健全な森と緑を将来に引き継ぐために、県内全域で「森と緑」の事業や活動がされていることが分かるね。



## 県民・法人のアンケート結果

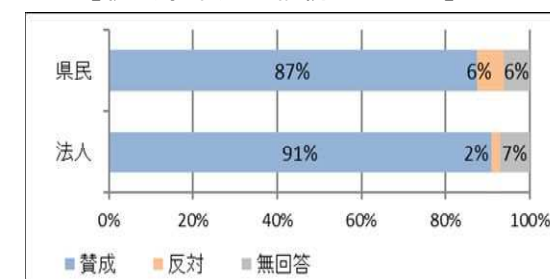
- 県内に居住する 18 歳以上の県民 3,030 人を無作為に抽出し 1,133 人から回答を得ました。  
(回答率 37.4%)
- 県内の法人 200 社を無作為に抽出し、58 社から回答を得ました。  
(回答率 29.0%)
- 調査時期  
2022年10月～11月
- ※ 回答割合は四捨五入しているため、合計値は 100%にならない場合があります。

### Q1【健全な森と緑の継承について】



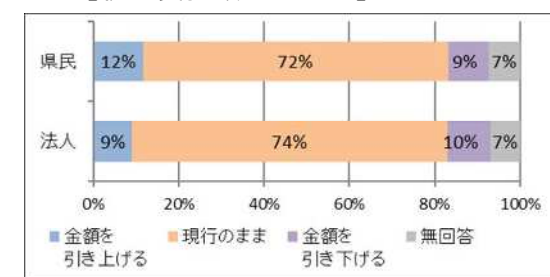
- 多くの方が、健全な森と緑の継承が必要だと思っています。

### Q2【税（事業）の継続について】



- 多くの方が税（事業）の継続に賛同しています。

### Q3【税の負担額について】



- 県民・法人とも、7割以上が現行のまま（県民は年額 500 円、法人は県民税均等割額の 5%を加算）と回答しています。

## 都市緑化



緑の街並み推進事業（稲沢市）



←事業内容は  
こちら

都市緑化の第2期事業計画 2,385 件に対して、2021年度までに 864 件に助成しました。  
事業の進み具合は 36%で、達成度は【A】です。

## 環境活動・学習等推進



森・緑の育成活動事業（武豊町）



←事業内容は  
こちら

環境活動・学習等推進の第2期事業計画 820 件に対して、2021年度までに 330 件に助成しました。  
事業の進み具合は 40%で、達成度は【A】です。